



# ALL JAPAN HIPHOP DANCE CHAMPIONSHIP

大会規定、規約

5～9 人編成クルー部門

HHI JAPAN

東京都世田谷区玉川 3 丁目 1 番 1 8 - 1 3 0 8

TEL 080-9271-4798 FAX 03-3708-4078

[info@hhijapan.com](mailto:info@hhijapan.com)

<http://www.hhijapan.com>

HHI 公式ルール及び規約,規定について

HHI 公式ルール及び規約、規定のマニュアルは HIPHOP INTERNATIONAL(HHI)が定めたアメリカ及び HHI 加盟国の世界共通の規約、規定と競技ルールであり、WORLD HIPHOP CHAMPIONSHIP に参加する為に必要な条件です。

Hip Hop Dance Championships とは :

世界中のパフォーマーたちが HipHop ダンスの芸術性とテクニックを競い合う機会であり、テレビ、メディアの露出のチャンスだという評判も高い、国ごとにタイトルを賭けて踊る世界選手権ともいえる競技ダンスイベントです。

振付された演技でクルーは自分たちのその卓越した技術と作品を見せます。創造性、ショーマンシップ、芸術的自由は高く評価されます。

Hip Hop Dance とは :

ヒップホップの定義を記述したものは何ひとつありません。ヒップホップはダンス分野と文化の融合と世界中で解釈されています。ヒップホップルーティーンは、見た目、音楽、ポーズ、姿勢とストリートスタイルなどユニークに取り入れています。ヒップホップダンスは、時代と共に起源のスタイルを基にその形の変化発展を続けています。

勝利するヒップホップ演技とは：

HH I に従う最高得点ヒップホップダンスは、種々のストリートダンススタイルがあり、ショーマンシップがあり、オリジナルな動きを持ち、音楽によくあっていて、頭から足先までの完ぺきなヒップホップダンスの振り付けで連続的なよどみない演技を見せている。

HH I とは：

HH I は 2000 年にロスアンジェルスで設立され、ライブでテレビ放映されているストリートダンス競技大会のプロデューサーであります。それらは、MTV のランディージャクソンとプロデュースしている America's Best Dance Crew,

USA Hiphop Dance Championship, the World Hiphop Dance Championship, the World Battle and Urban Moves Dance Workshops です。HH I は既に 100 カ国以上の MTV 放映と国際ネットワークで認知されています。

HH I は世界各国の HH I 正式認定ライセンス保有者によって紹介されています。彼らはヒップホップの起源であるレジェンドを尊敬し、HH I との契約のもとでイベント、大会を主催している。そして HH I の世界大会への各国代表クルーを選考してこの世界大会に参加している。

コンタクト：

Website: [www.hiphopinternational.com](http://www.hiphopinternational.com)

My Space: [www.myspace.com/hiphopinternational](http://www.myspace.com/hiphopinternational)

Facebook: [www.facebook.com/hiphopinternational](http://www.facebook.com/hiphopinternational)

Twitter: [www.twitter.com/hhiworlds](http://www.twitter.com/hhiworlds)

Youtube: [www.youtube.com/officialhhi](http://www.youtube.com/officialhhi)

大会参加規約

参加条件

1. クルーは HH I の定めた規約、規定及びルールを順守する。
2. 個人情報をお確かめ、国際的な世界規模のイベントにふさわしい各国の代表である事を保証できる者である。
3. 全てのイベントは、HH I 国内大会主催権を保持する HH I ライセンス保持者によって、HH I ルール及び規約、規定を使用して実行され、国内大会優勝クルー、あるいは、HH I 本部からの招待を受けたクルー、あるいは、国内大会主催者の推薦を受けたクルーが出場する。
4. 世界大会への出場クルーの数は各部門、各国 3 組までとする。(MEGA クルーも同じ)
5. 但し前年度世界大会ゴールドメダリストが参加の場合は 4 組参加となる。
6. 優勝クルー以外の渡航費用は全て自己負担であり、優勝クルーは賞金として渡航費用減額となる。(MEGA クルーは対象外)

## クルーの構成

クルーの構成は最小 5 名から最多 9 名構成。各クラス定められた年齢内である事。男女の比率：男性のみ、女性のみ、男女混合等いずれも可能です。

メガクルーは、最小 15 名、最多 40 名構成。年齢、男女構成のいずれも制限はない。

## 年齢別カテゴリー

ジュニアクラス：7 歳～12 歳

バーシティークラス：13 歳～17 歳

アダルトクラス：18 歳～

シニアクラス：40 歳以上（日本大会のみで、優勝クルーは世界大会の準決勝舞台で特別パフォーマンスを披露する資格がある。）

## 年齢必要条件

1. 世界大会に参加する際は、現在の年齢を大会前に、パスポート、出生証明書、免許書等の生年月日により確認します。
2. 年齢の判断基準は、大会のある年の 1 月 1 日～12 月 31 日までの年齢が対象となります。
3. 大会開催時の年齢が、2つのカテゴリーにかかるクルー及び個人は、自分の年齢が入っているどちらかの部門を選んで参加可能です。
4. 1クルーに、2人まで年齢が下のカテゴリーから上のカテゴリーへの編成に加える事が可能です。しかし、上から下へのカテゴリーへの参加はできません。
5. 1人、1カテゴリー、1クルーでのみの参加です。（MEGAは対象外）

## 国籍（世界大会参加）

1. 代表になった国の住人又は住居者であること。
2. 在住証明は、パスポート、出生証明、免許証等で世界大会前に確認をします。
3. 留学生、駐在員等は最低 6 カ月は日本に住んでいる事を公式書面にて証明します。
4. 3年間連続して 2 カ国以上の国で予選に参加する事はできません。

## リリース

1. 世界大会参加者は各国のHHI オフィスを通じて全ての登録作業を大会前に終了する大会参加者のテレビ放映、映画、ホームビデオ、インターネット、ラジオ、プレス、メディア関係全ての権利はHHI に属する事を承認する。

## メンバー変更

1. 病気、怪我等やむおえない理由でメンバー変更を行う場合は、必ず事前に大会主催者側に連絡して許可を取ること。
2. メンバー変更及び補欠要因は下記とします。  
5人～6人編成クルー:2人までの補欠要員、メンバー変更が可能。  
7人～9人編成クルー:3人までの補欠要員、メンバー変更が可能。

## 申込に関する規定

- ①. 受け付け方法、参加費は申込要項に準じます。
- ②. 必要事項を全て記入完成させたくて署名してください。18歳未満に関しては必ず保護者の署名が必要です。
- ③. 申込書の提出と参加費の振込は期日厳守とします。振込済みの順番は演技の順番が後ろからになります。

## 演技の順番

ジュニア  
バーシティー  
シニア  
アダルト  
メガ

- \*演技は各クラス申込振込が遅いクルーからスタートします。
- \*上記順番は変更もあり得ますが、通知は事前に行います。

## 演技床エリア

9.1m四方 (メガクラスは12m x 12m)

- \*会場の都合により変更もありますが、通知は事前に行います。
- \*基準線のラインはテープを貼りますが、ラインを踏む、はみ出すは源点対象ではありません。

## 演技時間

ジュニアクラス:1分30秒 (1分25秒～1分35秒以内)

バーシティー&アダルトクラス:2分 (1分55秒～2分05秒以内)

メガクラス:3分30秒 (3分～4分以内)

## 衣装

1. 衣装は、パフォーマンスの特徴及びスタイルを反映している。
  - \*実在人物が着用していたものや、実際に町中で着用されているストリートファッションが反映されているスタイルである。
  - \*レース、紐等が多く付いているもの、裾を引きずるような物等、危険や迷惑が想定されるものは減点対象。

2. メンバー全員が揃った服又は似たものを着用する必要はない。
3. 個性的な衣装は効果的。あまり劇場的、舞台衣装はストリートファッションとしては推薦できません。例:ハローウィン、キャラクター、動物等。
5. 帽子 (ハット)、キャップ、手袋、スカーフ、アクセサリ等OK.
6. パフォーマンス中に衣装を取り除いていく事は可能です。但し、脱ぎ捨てた衣類は、演技エリアの床に置いてください。ステージ上から観客に向かって投げる事、舞台袖に放り投げることも禁止です。
7. 過激なもの、危険を伴うもの (尖った金属等が付着しているもの) やキャラクター商品は避ける事。
8. 危険が伴うと予測ができ、服装としてどうしても必要と考えられない小道具 (杖、椅子、タンバリン、楽器等) の使用は禁止。
9. 膝あて、は動きの安全性とパフォーマンスを援助するもので装着は可能。
10. 靴 使用可能: ジャズシューズ、ジャズ&ダンスブーツ、ジャズブーツ、運動靴。  
使用不可: タップシューズ、素足、ストリートシューズ、ストリートブーツ、下駄、雪駄、草履、足袋、等。
11. 顔全体の行き過ぎたメイク、ボディーオイル、ボディーペイント、身体、髪の毛のラメ等の使用は禁止。
12. ヘルメットはパフォーマンスの中で、ヘッドスピンなど必要なパフォーマンスの時だけ着用、終わったらエリア外に置きパフォーマンスを行う。
13. 上半身裸や、露出度の高いものはNG, 減点対象になります。

\*参加者同士の安全性を守るためにも舞台上が常に乾燥した状態が保たれるよう心がけてください。靴は常に清潔な状態で使用し、泥等で床を汚すような事は避けてください。その他、床面を傷つけるような靴の使用及び行為は禁止。

#### パフォーマンスに使用する音源、音楽についての要求事項

1. パフォーマンスに使う音源は、各クルーが用意した音源を使用します。大会主催者側からの音楽の指定、提供はありません。
2. 音楽の長さは、ジュニアクラス: 1分30秒 (1分25秒~1分35秒以内)  
バーシティークラス: 2分 (1分55秒~2分05秒以内)  
この範囲内に**最短20秒間**の全く編曲編成されていない、効果音もいれていない連続した音楽を入れ込む事が必須です。違反は0.15の減点となる。  
アダルトクラス: 2分 (1分55秒~2分05秒以内)  
この範囲内に**最短30秒間**の全く編曲編成されていない、効果音もいれていない連続した音楽を入れ込む事が必須です。違反は0.15の減点となる。
3. パフォーマンスで使用する音源は、必ずCDで録音し提出してください。万が一に備え、音源はかならずコピーをバックアップでご用意ください。またCD提出はHH I JAPAN宛に期日までに必ず送付してください。
4. 提出CDとケース両方に、1. 出場クラス、2. クルー名、を明記する事。(大会終了後提出CDは返却致します。)
5. 使用音楽の曲数の規制はありません。歌、音楽は振付とパフォーマンスを強化するために編

集されるものと考えます。

6. オリジナル効果音、オリジナル音楽の使用は可能です。但し、注意しなくてはいけないのは、効果音や音楽をあまり複雑に編集しすぎると却ってパフォーマンスの表現や正確さを損ねて得点にマイナスになりかねません。
7. 使用音楽は、わいせつ、攻撃的等不適切な言語を含んではいけません。
8. 世界大会において、準決勝、決勝に進むクルーが毎回使用音楽を変える事は可能です。各大会開始前夜までにディレクターをとうして提出する。
9. 日本大会では当日までの音源変更は可能。受付時速やかに提出する。
10. 出場者は、使用音楽の情報として以下を大会開催前に主催者に提出します。
  - a. タイトル
  - b. アーティスト
  - c. 作曲者
  - d. 販売元
  - e. レコード会社
11. 著作権的問題から大会で使用した音楽が、テレビ、フィルム、劇場等で配信、上映する際に使用できない場合があります。その場合の曲の選択権利は主催者側に帰属し、主催者側で、著作権的に問題のない曲に差し替えます。

#### 競技開始に関する規定

1. クルー全員が舞台上で同時に演技を開始する。
2. 演技開始は、必ずステージ上で板付きからスタートする。
3. 大会中クルーは自由に舞台に入る事はできません。
4. 演技中ステージ袖への出はけ、舞台を下りたり登ったりはできません。
5. 出場の名前を呼ばれたら20秒以内にスタート位置につく事。
6. スタート位置に立つ前の行き過ぎたイントロダクション表現や、ステージ上での10秒を超えるデモンストレーション行為は、演技開始の前倒（プレスタート）と判断しその分の時間を差し引きます。
7. 出場の名前を呼ばれた後スタート位置に着くまでに60秒以上かかった場合は失格となる。
8. スタンドプレー（演技開始前、後の過度なポージング）は減点となる。
9. 演技をする上で、本人たちとの意思とは別に何らかの妨害、異常発生の場合、本人の希望をいれて再スタートする。
  - a. 誤って異なった音楽が流れたとき。
  - b. 機材故障による音楽トラブル。
  - c. その他の機材の異常、故障。
  - d. 演技前にメンバー以外の人物、異物の侵入があった時。
10. 異常事態、天災が起きたときは演技を中止する。
11. 演技終了後の異常の申し出は受け入れません。

#### 審査に関して

1. 審査は10点満点で計算されます。
2. 10点の内訳は、芸術点50%、技術点50%です。
3. 審査は、芸術点担当審査員、技術点担当審査員に分かれて、それぞれの分野だけを審査基準

に則って審査し、合計点で順位を決めます。ヘッドジャッジは審査進行具合を調整し、リストにある減点の有無を見る。テクニカルジャッジはヘッドジャッジをサポートし、審査マニュアルの教育トレーニングを担当する。

4. \*ジャッジパネルは：

世界大会時は芸術点審査員4名、技術点審査員4名、ヘッドジャッ  
1名、テクニカルディレクター1名編成。

国内大会の編成はこの比例で調節できる。

スコアの計算は：

芸術点 技術点審査員各3人編成時は、3人の合計点を3で割って平均点を出し、総合点を出す。

各4人ずつの編成時は、4人の中の最高点、最低点を除外して、残り2  
人の平均点を出し、総合点を出す。

5. \*たとえば、振付もショーマンシップも素晴らしいが、技術

カレベルが伴わない場合、またその反対にスキルは素晴らしいが、芸術 面、振付等が伴わないと、高総合得点になりません。各分野でポジティブな評価を受け、至らなかった原因も合理的に把握して頂いて次回に備えて頂くための明確なフェアな審査となっています。

6. 総合点と同点の場合は下記の順で順位が決まります。

7. a.芸術点の一番高いクルー

b.技術点の一番高いクルー

c.審査員のオリジナルランク付けを分析

8. 審査の結果への抗議（プロテスト）は禁止。また不平、不満、ゴシップを言わない事。

### 医学上の注意とその他の注意事項

各クルーのコーチ&リーダーは参加者の健康と安全を守るために下記を守ってください。

1. 各クルーのコーチ&リーダーは、クルーメンバーの怪我や病気をHHIJAPANに大会前に報告する義務が有ります。
2. 演技前、演技中如何なる場合でも、クルーメンバーが病気や怪我で健康状態が危険と判断した時は、大会主催者は競技への出場の断念と失格を通告します。
3. 参加者は、自分の健康に責任を持ち、万が一の事故、病気対策として自己責任の対策を取っておくこと。
4. 本大会中の、所持品の盗難、紛失物、破損に関しては一切責任を負いかねます。各クルーごとの管理を徹底し、主催者側に対してそれらの責任を追及しない事。
5. 本大会参加者の肖像権は、主催者側に帰属します。従って、本大会のビデオ、DVDの販売、広報活動の二次利用物に使用する為の撮影、録画、記録及び使用の場合の著作権は主催者側に帰属します。
6. 参加費のキャンセルの払い戻しは致しません。
7. 本大会会場へのビデオ、カメラの持ち込み及び撮影は禁止です。
8. 本大会当日の注意事項を守ってください。

### 世界大会についての追記

世界大会では、大会開催前に、レジストレーションが済み次第、

各クルーは国ごとの予約順番に従って、ステージ上での音合わせのリハーサルが有ります。その後の練習も、各国の予約に従って各部屋で練習が何度もできます。(国内大会では音リハーサルはありませんが、ステージではなく、練習場が用意されていますので、各自自由に練習できます。)

世界大会は予選、準決勝、決勝の3段階です。

予選通過は各カテゴリー出場クルー数の半分のクルーが準決勝へ。

準決勝から決勝への通過クルー数は；

ジュニアクラスは5クルー+ディフェンディングクルー

バーシティーは7クルー+ディフェンディングクルー

アダルトは7クルー+ディフェンディングクルー

メガは4クルー+ディフェンディングクルー

予選通過後、準決勝、決勝それぞれの音楽と、パフォーマンスは変更できます。

決勝は準決勝通過得点の低い順番に演技をします。得点の高いクルーが最後です。ディフェンディングクルーは準決勝から出場となりますが、希望があれば予選時にも出場できます。

世界大会のアメリカ本部への参加申込は、各国のHHIをとうしてのみ受け付けます。日本はHHI JAPAN。

各国選手代表団として、HHI本部と正式契約のあるオフィシャルツワー担当会社が全てのレジストレーション作業を速やかに行い、ツワーを用意します。公式ユニフォームを着用して団体として参加が義務づけられています。

## HHI JAPAN